

高美小プランシート

場所： 3年教室

1. 「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成」に関わって

○課題設定

・自分事としてとらえることができるよう、児童にとって身近に感じられるような課題を設定する。(問いを生む2)

○ふき出し

・問題を読んで、気づいたことやこれまで学習した内容で使えそうなこと、問題を解決するためにひらめいたことなどを書き、課題解決の見通しをもたせる。(見通す2)

○めあて

・みんなでめあてを立てるために、ふき出して発表したことを板書に整理する。(めあて2)

○ふりかえり

・具体的にふりかえることができるよう、型を提示する(R80)。(振り返る3)

2. 単元名

何倍でしょう(算数)

3. 単元の目標

- ・数量の倍関係を図に表し、乗法や除法を適切に用いてわからない数を求めることができる。
- ・日常の事象における数量の倍関係に着目し、「何の何倍が何か」を正しく判断して図に表したり、図をもとにわからない数の求め方を考えたりすることができる。
- ・数量の倍関係の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の倍関係を図に表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。

4. 単元の評価規準

- ・2台の車が進む距離の倍関係を図に表し、乗法や除法を適切に用いてわからない数を求めている。【知識・技能】
- ・3台の車が進む距離の倍関係に着目し、「何の何倍が何か」を正しく判断して3つの数量の倍関係を図に表したり、図をもとにわからない数の求め方を考えたりしている。【思考・判断・表現】
- ・数量の倍関係の学習に進んで関わり、ふり返りを通して数量の倍関係を図に表すことや何倍になるかをまとめて考えることのよさに気づき、生活や学習にいかそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元計画(全5時間)

第1次	第1時	割り算を使って何倍かの求め方を考える。
	第2時	何倍かの関係にある2量のうちの、もとにする量の求め方を考える。
第2次	第3時 (本時1)	$a \times b \times c$ の答えの求め方を考える。
	第4時 (本時2)	$a \times b \times c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法のよさを考える。
第3次	第5時	問題作りをする。

6. 本時1の目標

$a \times b \times c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの考え方があることに気づくことができる。【思考・判断・表現】

7. 本時1の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
7分	1. 問題をつかむ ・問題を読んで、疑問に思ったこと、ひらめいたことなどをふき出しに書く。 ・書いたふき出しについて交流する。		
35分	2. 本時のめあてを確認する。		
	図を使って、ピカチュウ号が走った長さのもとめ方を考えよう		
35分	3. 関係図をかく。		
	4. 一人で考える。		
	5. 近くの人と考える。		
	6. 全体で交流する。	・2通りの解き方があることに気づくために、どちらの解き方でも答えが同じになることを確認する。	
3分	7. ふりかえり	・ふりかえりを書くためのキーワードを確認する。	「 a の b 倍の c 倍」という数量の関係を図に表すことを通して、「 a の($b \times c$)倍」という関係に気づいている。 【思考・判断・表現】 (ノート)

8. 本時1の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
「 a の($b \times c$)倍」という関係に気づき、その解き方の良さや便利さに気づいている。	$a \times b \times c$ の場面で、順に考えて解く方法と、何倍になるかに着目してまとめて考えて解く方法の2通りの考え方があることに気づいている。	ふりかえりを書きこむヒントカードを用意する。

9. 本時2の目標

・ $a \times b \times c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考えることのよさに気づくことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

10. 本時2の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
7分	1. 問題をつかむ ・問題を読んで、疑問に思ったこと、ひらめいたことなどをふき出しに書く。 ・書いたふき出しを交流する。		
35分	2. 本時のめあてを確認する。		
	2つのとき方をくらべよう。		
	3. 関係図をかく。		
	4. 順に考えて解く方法とまとめて考えて解く方法を使って解く。		
	5. 全体で交流する。		
3分	6. 順に考えて解く方法とまとめて考えて解く方法を比べる。	・まとめて解く方法を使うと、早く簡単に解くことができると気づけるようにうながす。	
	7. 練習問題		
3分	8. ふりかえり	・ふりかえりを書くためのキーワードを確認する。	$a \times b \times c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考えることのよさに気づいている。 【主体的に学習に取り組む態度】(ノート)

11. 本時2の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
$a \times b \times c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考えることのよさに気づいた上で、順に考えて解く方法とまとめて考えて解く方法を使い分けようとしている。	$a \times b \times c$ の場面で、何倍になるかに着目してまとめて考えることのよさに気づいている。	ふりかえりを書きこむヒントカードを用意する。

